

夢洲まちづくり推進本部における検討状況

■夢洲まちづくり推進本部の経過

第1回 令和元年7月 開催

夢洲まちづくり推進本部の立ち上げ
「推進体制や今後の進め方」などの確認

第2回 令和元年12月 開催

「夢洲まちづくり基本方針」策定
今後のまちづくりの進め方などの確認

第3回 令和3年2月 開催

2025年大阪・関西万博の開催に向けた
「夢洲コンストラクション」の方向性共有

令和4年4月大阪市が
スーパーシティ型国家戦略
特別区域に指定

＜夢洲コンストラクション＞（スーパーシティの取り組み）

2025年大阪・関西万博の開催に向け、会場整備やインフラ整備などの建設工事を円滑に行うため、**工事車両の渋滞対策や作業員の安全・健康管理**などに取り組む

夢洲コンストラクションの3つの柱

建設工事現場内外の移動 の円滑化

- ・データなどの活用による交通量 予測に基づくピークシフト誘導
- ・位置情報及びAIカメラによる車両管理
- ・駅及び共同駐車場からのシャトルバス・デマンドバスの運転管理

建設工事・資材運搬 の円滑化

- ・BIM/CIMなどを活用した建設工事の効率化
- ・データ及びセンシングによる局所的な気象予測
- ・ドローンによる建設工事の円滑化
- ・シャトルバスを活用した資材運搬（貨客混載）

建設作業員の安全・ 健康管理の円滑化

- ・AIによる顔認証での建設作業員の入退場管理
- ・バイタル情報及び位置情報によるリアルタイムでの安全・健康管理

夢洲コンストラクションで実現した技術やサービスを全国の大規模建設工事を始め、まちづくりにも発展的に活用